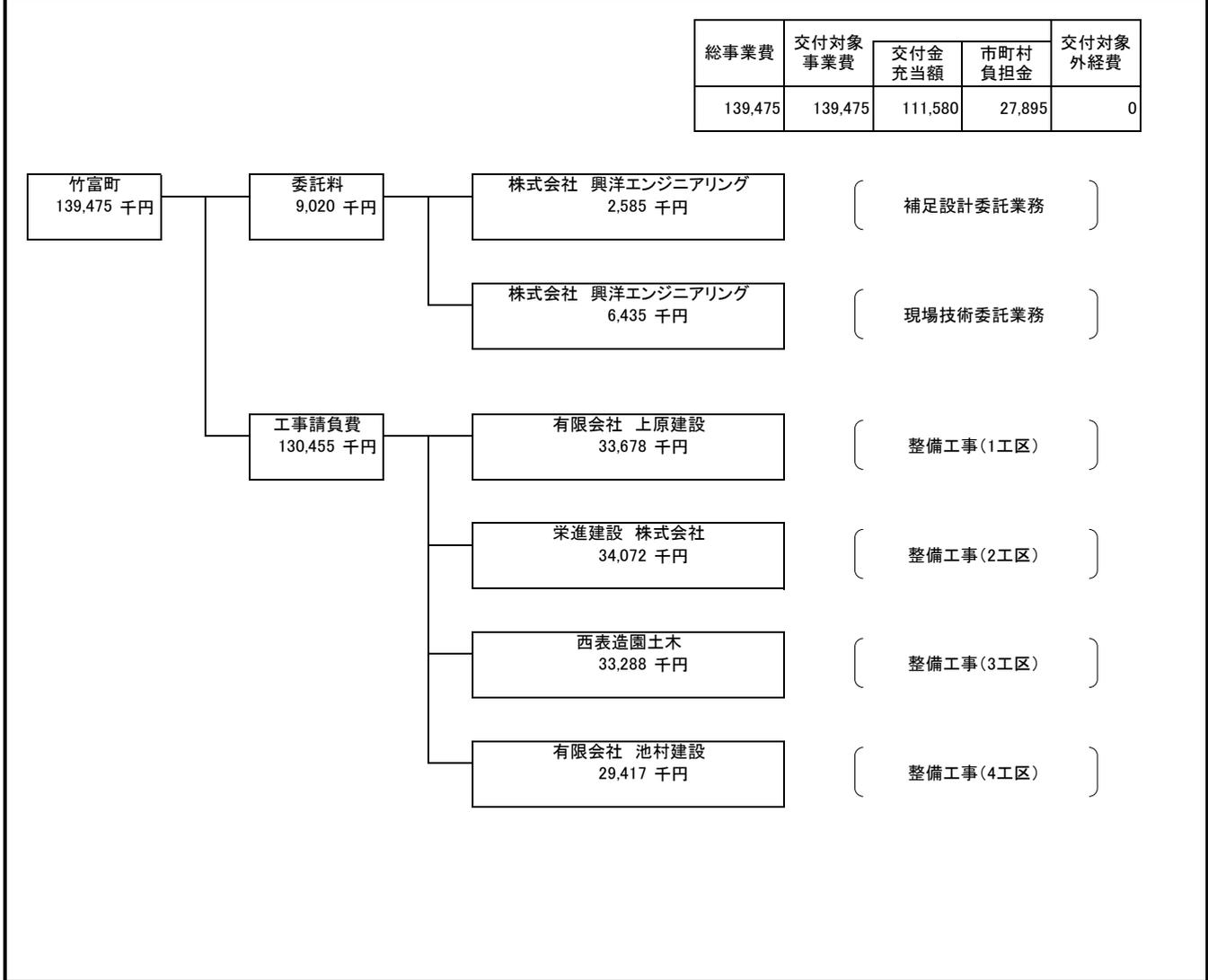


市町村名		竹富町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	西表東部公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	西表東部地区に公園を整備し地域住民の福祉向上を図るため、遊具施設等の公園整備工事を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,965	61,060	196,000	204,000	157,921
		(b) 予算現額	12,030	52,829	195,917	197,264	143,591
		(c) 増減額(b-a)	▲ 935	▲ 8,231	▲ 83	▲ 6,736	▲ 14,330
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		12,030	52,829	195,917	197,264	143,591
	B. 執行済額		11,612	52,827	195,917	197,264	139,475
	うち交付金充当額		9,288	42,262	109,523	157,811	111,580
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.5%	100.0%	100.0%	100.0%	97.1%
予算の状況の説明		工事入札残額及び備品購入(乗用草刈機)の減額を行った。事業内容を遂行するため適切な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	公園整備実施設計及び用地取得業務を実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	公園整備工事、トイレ(追加分)設計の実施	目標	()	(実施)	(実施)	()	
		実績		実施	実施		
公園整備工事、野生動物の侵入対策として猪垣フェンスやハブ返し等の設計の実施	目標	()	()	()	(実施)		
	実績				実施		
達成状況説明	本年度予定していた公園整備工事、野生動物の侵入対策として猪垣フェンスやハブ返し等の設計を実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	【R3成果目標】施設利用者満足度(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				93.5%	
進捗状況説明	R3年度一部供用開始により実施した、施設利用者満足度アンケートを実施した結果、93.5%の満足(やや満足含む)となっており、利用についての質問については、遊びが56.6%、憩いが43.5%となっており、事業実施の目的、成果目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(アンケート検証) H29年度に実施した地域住民ワークショップで要望等のあった施設整備を行ったことにより、目標達成につながったと考えられる。	(アンケート検証) アンケート検証であった意見や要望等を参考に、施設の更なる充実を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>要望のあった案内板の設置など施設の更なる充実を図り、安心・安全な公園管理に取り組み、施設利用者の満足度向上へつなげていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



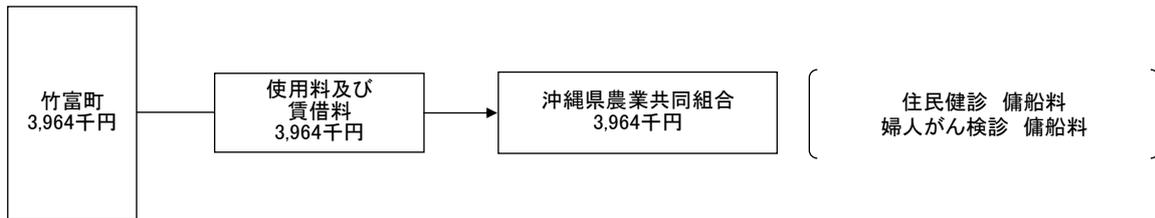
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者、工事請負業者とも、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○工事入札残額等の減額を行い、事業内容を遂行するため適切な予算であった。 ○費目、用途については完了段階で検査をしており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	健康診査用機材搬送事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	3,894	3,900	3,900	3,900	3,964
	(b)予算現額	3,705	3,696	3,797	2,468	3,984	
	(c)増減額(b-a)	▲189	▲204	▲103	▲1,432	20	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	3,705	3,696	3,797	2,468	3,984	
	B.執行済額	3,412	3,696	3,797	2,468	3,984	
	うち交付金充当額	2,729	2,956	3,037	1,974	3,187	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	92.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症流行懸念により、一部地区の延期が生じた事により予算増額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	検診機材搬送年2回実施(検診3回×5島6地区=18件)		目標 (18件)	(18件)	(12件)	(18件)	
			実績 18件	18件	12件	18件	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・住民健診・胃がん検診、婦人がん検診実施時に、石垣島より町内各島を経由し検診機材を貨物船を備船して運搬した。 ・住民健診と胃がん集団健診は同時実施としているが、運搬回数に変動はなし。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(26年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	集団検診受診者数		目標 (1645名)	(2091名)	()	()	()
			実績	1713名			
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診対象者の受診率 60% ・胃がん検診対象者の受診率8.7% ・婦人がん(子宮頸がん)健診対象者の受診率18.8% 		目標 ()	()	(60%)	(60%)	()
		実績		48.1% 38.9%	49.5% 12.1% 26.2%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん集団健診は、住民健診と同時実施したことにより、目標達成することが出来た。 ・婦人がん検診(子宮頸がん検診)も目標達成することができた。 ・特定健診受診率が49.5%と、前年度よりは増加したものの、目標が達成できなかった。 						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率が49.5%と目標を大きく下回る結果となってしまったが、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念により受診を控える住民がいたと考えている。 ・胃がん集団健診は、住民健診と同時実施初めて行ったが、目標を上回る結果となった。 ・婦人がん(子宮頸がん)検診の受診率は、26.2%で、こちらは大きく上回る結果となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹富町の場合、集団検診を受診できる日が極めて限られることから、住民健診受診率の向上がやや困難である。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度までは住民健診・特定健診と、胃がん集団検診を別々に実施していたが、令和3年度初めて同時実施したら想定以上の受診率となった。 ・婦人がん検診については、令和4年度は乳がん集団検診となる。子宮頸がん検診に比べて受診希望者が多い傾向にあるが、加えて公式SNS、広報誌、防災無線アナウンス等周知を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,984	3,984	3,187	797	0



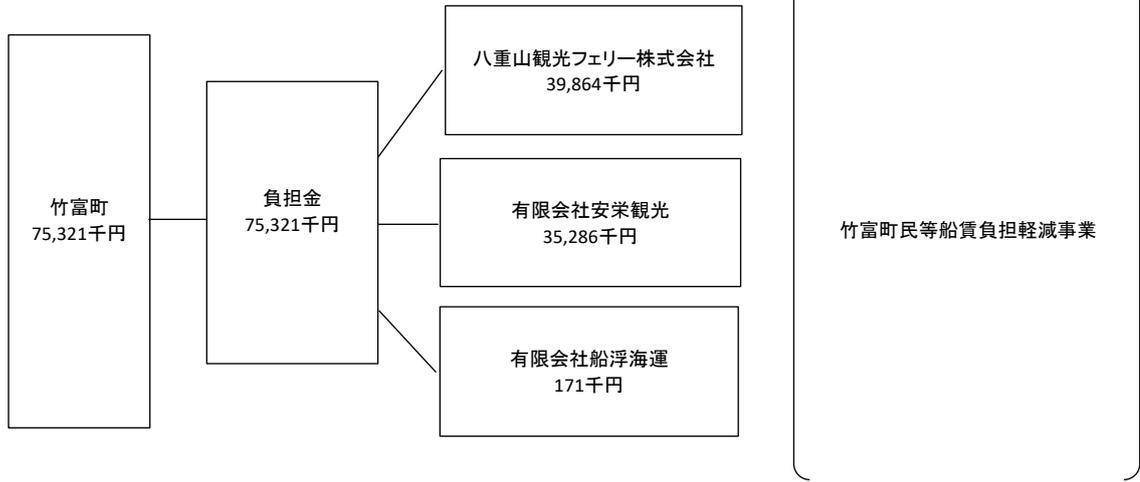
資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○備船契約にあたっては、検診車両を積載可能な船舶を所有する全ての事業者(3者)に見積依頼を行っており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 ○集団健診事業の一つが中止となったが、予算規模は適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途は検査により確認されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	竹富町民等船賃負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	政策推進課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9	
事業内容	島々を結ぶ高速船の船賃をJR料金並みにすることで、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減するとともに、生活の利便性を確保する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	104,724	114,609	105,845	100,834	100,834
		(b)予算現額	114,244	114,609	86,645	71,419	80,000
		(c)増減額(b-a)	9,520	0	▲19,200	▲29,415	▲20,834
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		114,244	114,609	86,645	71,419	80,000
	B. 執行済額		96,777	89,584	86,645	71,419	75,321
	うち交付金充当額		77,421	71,667	69,316	57,135	60,256
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		84.7%	78.2%	100.0%	100.0%	94.2%
予算の状況の説明		2月末までを交付対象とし、3月分は単費で対応している。年度途中のR3年12月に今後の乗船者数を見込んだうえで予算の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	船賃の一部負担	目標	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	
		実績	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	町民の生活に欠かすことのできない高速船での移動の際に係る船賃の一部を負担することにより、交通費の負担軽減及び利便性が高まった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		90.5%	98%	65.4%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	利用者へのアンケートで、船の利便性が確保されたかを含め事業のあり方を検証した。結果、本事業の継続希望が97%、船賃負担が軽減されているとの回答が65.4%と目標達成ができなかった。また、QRコード導入後、船のチケット購入に係る負担が軽減されており(70.1%)、片道購入においても町民割引が適用されるようになり、利便性が確保されていることが明らかになった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比べ利用者数は増加したが、R3年11月に燃料高騰の影響を受け、サーチャージ料が上昇するとともに船賃が値上がり、町民の生活に影響を与えた。結果、アンケートにおいて満足度が大幅に下がったと考えられる。 ・離島割カードのQRコードが薄くなり、読み取りエラーのトラブルが発生したことも要因と考えられる。 ・共通乗船券廃止後、船便が2社で同時間帯に運航されており、不便を感じることもからも満足度が下がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードが薄くなっている離島割カードについては更新をし、QRコードの強化を図り、チケットがスムーズに購入できるように改善する。 ・船便の運航時間帯については、船会社と調整し、改善できるよう検討していく。
今後の取り組み方針		
<p>更なる利便性の向上を図るため、薄くなっているQRコードの更新作業及び、船便の運行時間の改善に向けて船会社と調整に取組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
75,321	75,321	60,256	15,065	

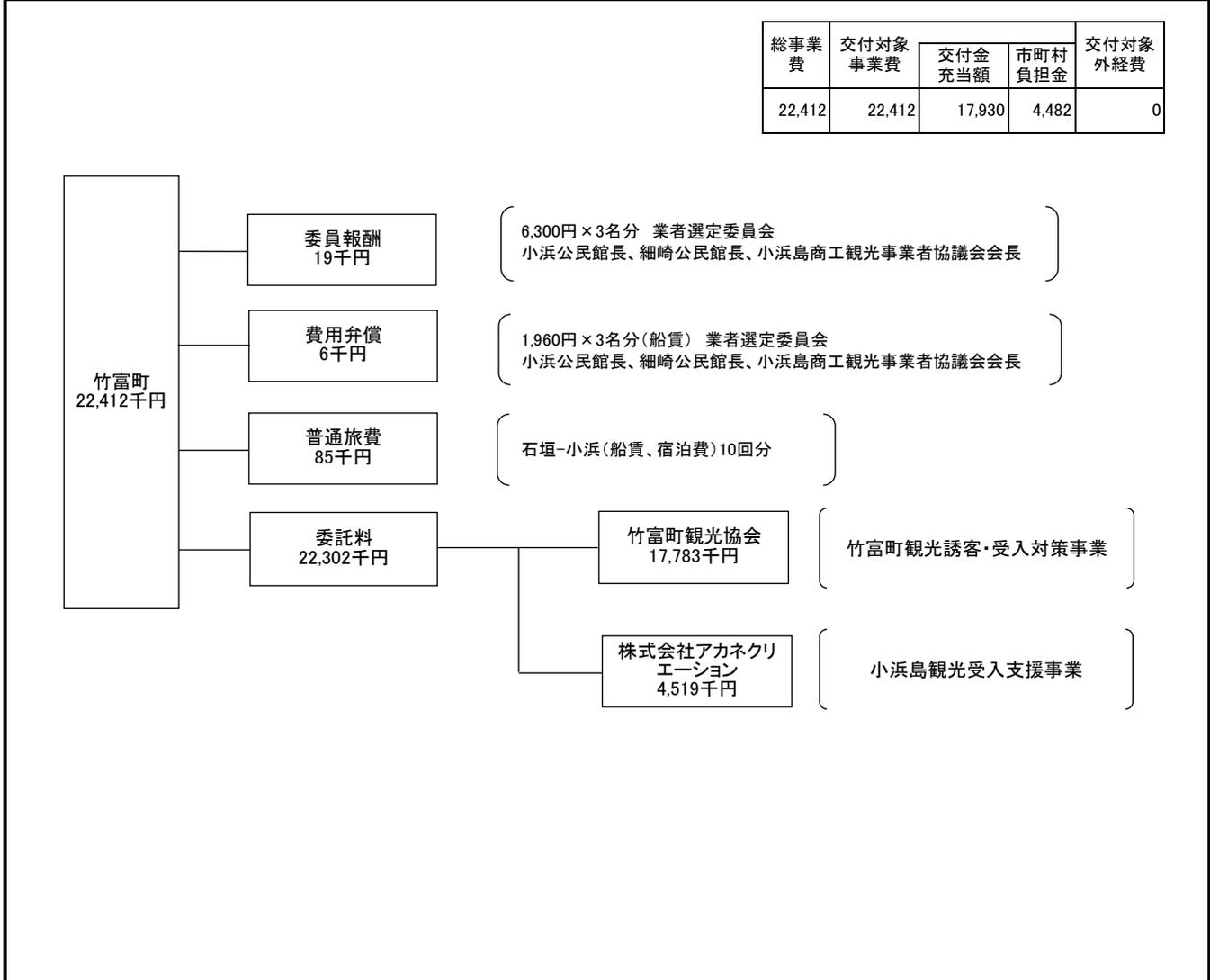


資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、町内に航路を有する全ての船会社であり、妥当といえる。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○年度途中に実績額を元に予算を見込み、不用が生じていないことから、予算規模は適正であった。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○料金設定をJR料金並みとしている為、町民の利便性・公平性からも妥当といえる。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については町民の船賃負担軽減に必要なものに限定されていた。

市町村名		竹富町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-① 竹富町観光誘客・受入対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア			
	担当部署名	世界遺産推進室	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本町の滞在型観光の促進を目的とした誘客宣伝活動及び受け入れ体制の強化・整備を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a)当初予算額	57,026	47,259	49,877	31,731	28,103	
	(b)予算現額	48,753	47,259	48,006	23,862	28,103		
	(c)増減額(b-a)	▲ 8,273	0	▲ 1,871	▲ 7,869	0		
	(d)繰越額	-	-	-	-	-		
	A.計(b+d)	48,753	47,259	48,006	23,862	28,103		
	B.執行済額	48,689	46,402	48,006	23,862	22,412		
	うち交付金充当額	38,951	37,121	38,404	19,089	17,930		
	次年度繰越額	-	-	-	-	-		
	執行率(%) (B/A)	99.9%	98.2%	100.0%	100.0%	79.7%		
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響により、「小浜島観光受入支援事業」と「観光誘客・受入対策事業」の事業内容一部変更で事業費が減り、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	誘客宣伝活動	目標	(誘客宣伝活動5回)	(誘客宣伝活動2回)	(誘客宣伝活動1回)	(誘客宣伝活動1回)		
		実績	誘客宣伝活動4回	誘客宣伝活動4回	誘客宣伝活動0回	誘客宣伝活動1回		
	ポイントシステムの整備・充実	目標	()	()	(会員獲得)	(システム運用)		
		実績			会員獲得	システム運用		
	滞在型観光推進ポータルサイト構築	目標	()	()	(サイト拡充)	()		
		実績			サイト拡充			
	観光人材育成講習会	目標	()	()	(5回実施)	(5回実施)		
		実績			5回実施	5回実施		
観光メニュー創出	目標	()	()	()	(メニュー創出)			
	実績				メニュー創出			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 誘客宣伝活動は、OCVBやYVBと連携し実施した。 ポイントカードシステムではカード会員や加盟店加入の勧誘を行い、新規会員の獲得を図った。また、既存会員の中から上位利用顧客へDMを送付し、アプローチを行った。 人材育成では、毎回違う講師を呼び、様々な角度から星空ガイドに関する知識やおもてなしを学んだ。 観光メニュー創出では、島内での消費喚起を促せるよう観光メニューを創出した。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	観光入域者を対象とした観光満足度をアンケートを実施し、満足度(「非常に満足」:60%)を達成することを指標とする。		目標	()	(58%)	(60%)	(60%)	()
			実績		90.3%	79.7%	47.1%	
進捗状況説明	WEBアンケート調査を行った結果、訪れた観光客の満足度(大変満足)は、47.1%となり、目標を達成できなかった。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標が達成できなかった要因としては、感染症拡大による観光客自身の行動の制限や受入側のサービスの縮小等が考えられる。(人数制限、時間制限、臨時休業など)ほか、アンケート調査の結果、トイレの衛生面での意見が多くあった。満足度を項目別/時期別に見ると「自然・景色」の「秋期」の満足度は61.9%と全体の満足度と比較すると高く、これは世界自然遺産である本町の自然を活用したアクティビティメニューとコロナ禍で密を避ける、自然に癒しを求めるといった需要がマッチしたことが考えられる。また、秋期は過ごしやすい気候となり、夏期より混雑が少なく快適に過ごせたからではないかと考えられる。 ・島ごとに満足度のバラつきがあった。 ・2021年7月に西表島が世界自然遺産登録され、これまでの人流との変化が予想されるが、コロナ禍での登録となり、客層を含めた人流の予測が難しい。 ・ポイントカードシステムのデータの活用ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度の向上、確保のため、引き続きガイドの人材育成を行うほか、トイレ清掃の徹底を周知しトイレ環境の向上を図る。 ・減少している観光客を一気に呼び戻すような誘客ではなく、「量より質」の観点から滞在型・着地型観光の推進や自然環境保全、感染症対策を意識した誘客宣伝活動に取り組む必要がある。また、観光客の訪問時期の分散化や平準化のための誘導も行き、満足度向上へ繋げる。 ・島ごとの課題の把握と解決策の検証を行う。 ・ポイントカードの会員の新規獲得及び既存の会員情報を活用した広報、情報提供に取り組む。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・別事業で行ったアンケート調査結果(現地消費額、満足度、平均宿泊数など)を基に、これまでの取り組みの検証や指標の見直しを含む本町の観光振興基本計画の改定を行う。 ・国内初の星空保護区にも認定された町内の星空を観光資源として活かすため、引き続き星空ガイドの人材育成や陸域ガイドの人材育成(別事業)を行い、ガイドの自然環境意識、安全意識を高め、質の向上に努める。 ・誘客活動においては、滞在型・着地型観光の魅力発信を柱に、世界自然遺産登録地として、自然環境保全やその他の観光マナー、ルールも意識した誘客宣伝活動を実施し、「来る側」と「受け入れる側」、双方からの質の向上を図る。 ・ポイントカードシステムのメリットや仕組みをわかりやすく伝えることで会員の新規獲得を促進する。また、既存の会員情報を有効活用した会員ならではの情報提供を行い、顧客との繋がりを持つ。 ・島ごとの課題を把握し、地域の主体性、自主性を尊重した解決策を検証する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



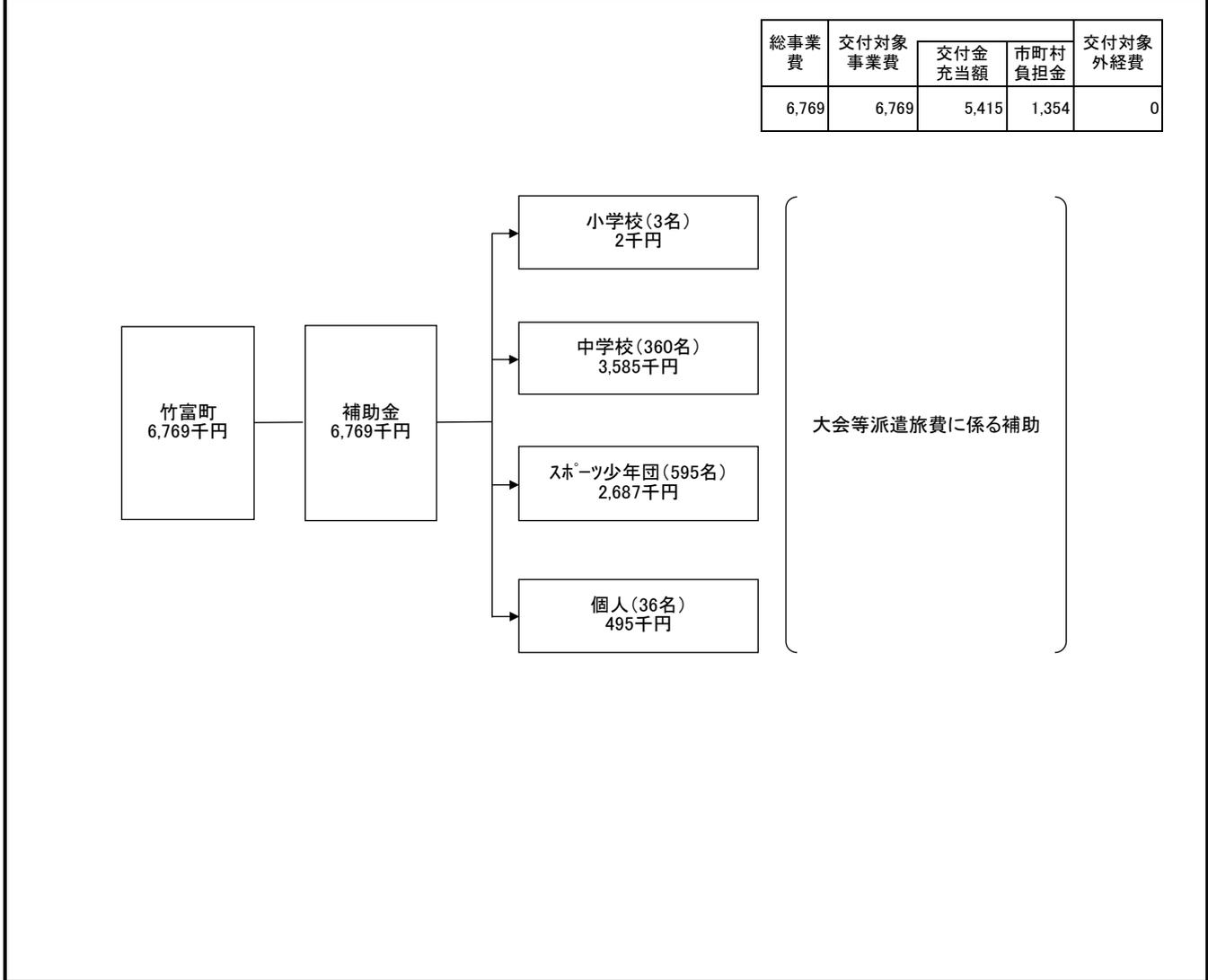
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
点検・費用目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○竹富町観光協会については、町内の観光情勢を熟知していることや町内の事業者との繋がり、また中立的な立場で事業を行えることを総合的に勘案し業務を委託できることから随意契約とした。その他の委託先については、プロポーザル方式で選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行状況に応じて適切に予算の補正を行ったことから、適正な予算規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○完了報告時に、費用や使途を検査し、目的に即したものであったと判断した。
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ		
担当部署名	教育委員会 社会文化課	事業実施(予定)年度	R2~R3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流		
事業内容	令和2年度に作成した基本構想書を基に、竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用した観光客の満足度向上を図る為、住民の学習機能と観光交流機能を有する複合施設の基本計画を策定する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			12,000	18,000	
	(b)予算現額				11,997	16,720	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	▲3	▲1,280	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	0	0	0	11,997	16,720	
	B.執行済額				11,997	16,720	
	うち交付金充当額				9,597	13,376	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	事業の執行にあたっては、HPでも公表済の基本構想書に基づいて事業を行うことから指名競争入札を実施し、株式会社丹青社に決定をした。3月28日付で業務完了報告があり、検査した結果、滞りなく遂行され、完了したことを確認した。事業計画通り適正に執行が行えたと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	文化振興観光交流拠点施設整備に向けた基本計画の完了	目標	()	()	()	(基本計画の策定)	
		実績				基本計画の策定	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	計画の策定にあたり、学識経験者・町内各団体の長等からなる基本計画策定委員会を計4回を持ち、計画通り年度内に基本計画を策定し、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	拠点施設整備の方向性を示す基本計画策定の完了	目標	()	()	()	基本計画の策定	()
		実績				基本計画策定完了	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和4年3月に基本計画を策定し、成果物である基本計画書・基本計画概要版を竹富町教育委員会ホームページおよび竹富町ホームページで公開した。						

市町村名		竹富町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒派遣費支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	児童生徒のスポーツ等競技大会や文化活動コンクールへの町外派遣費を補助することにより費用負担を軽減し、島外の児童生徒との競争や交流の機会を持つことでより広い視野を持ち、竹富町内だけではできない経験をととして子どもたちの心と体の健やかな育成を促し、離島格差の是正と人材育成に寄与する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	3,849	7,074	5,950	7,197	6,657
	(b) 予算現額	5,983	6,032	4,384	2,745	7,920	
	(c) 増減額(b-a)	2,134	▲ 1,042	▲ 1,566	▲ 4,452	1,263	
	(d) 繰越額					0	
	A. 計(b+d)	5,983	6,032	4,384	2,745	7,920	
	B. 執行済額	4,219	5,628	4,384	2,745	6,769	
	うち交付金充当額	3,375	4,503	3,507	2,196	5,415	
	次年度繰越額					0	
	執行率(%) (B/A)	70.5%	93.3%	100.0%	100.0%	85.5%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス影響により延期や中止になった大会が多くあもあつた一方で、地区大会での成績上位による県大会派遣や地区代表チームへの選抜も多くあり、必要となった事業費を増額して対応した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	児童生徒派遣人数(単位:名)	目標	(592)	(570)	(600)	(600)	
		実績	976	1,254	961	991	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス影響により延期や中止になった大会もあつた一方で、地区大会での成績上位による県大会派遣や地区代表チームへの選抜も多くあり、目標人数を達成した。 交付要綱改正により、R3年度より新たに対象となった選抜代表チーム練習への参加にも補助事業が活用された。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		95.4%	97.8%	100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 引率した教員や申請した保護者・児童生徒本人へのアンケート調査結果では、すべての対象者が「児童・生徒が島内ではできない経験をすることができた」と回答し、目標を達成した。 上記アンケートで「その経験により成長することができた」との回答も99%と高い割合になり、事業の効果が認められる。 保護者の経済的負担の軽減、他校の選手との交流や大会の緊張感等の経験につながっているという意見も多く寄せられており、事業の継続が強く希望されている。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のための大会延期や中止が多くあった一方で、県大会出場や代表チーム選抜もあり事業費の積算がむずかしい。コロナウイルス感染拡大に影響される大会の実施状況や、チームの勝敗等、引き続き先が読めない状況が続いている。 事務手続き案内により従来よりは少なくなってきたが、対象経費の誤りや書類の漏れや差し替えが見られる。 引率者旅費、現地交通費、練習試合など、補助対象拡大の要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 大会の延期や中止等の情報及び各校・チーム・個人の勝敗を把握し、きめ細かく事業費を積算し直して必要に応じて増減し、事業効果が最大限となるよう有効に活用していく。 事務手続き、必要書類とその記入方法や添付書類等わかりやすい案内を引き続き心がける。 事業の目的に合致するものについては補助対象としてきめ細かく対応できるよう、適宜交付要綱の見直しを検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 申請者には大会の延期や中止があった場合には連絡をしていただくようお願いし、不要となった補助金交付申請は取り下げや減額をしていく。また、大会成績による県大会進出、代表チーム選抜等の情報も常に把握する。年度途中に、各申請者にヒアリングをしてきめ細かく必要とされる事業費積算の見直しをしていく。 事務手続き、必要書類とその記入方法や添付書類等わかりやすい案内を引き続き心がける。また、教育委員会ホームページより様式と記入例をダウンロードできるようにする。 追加要望のある項目について、事業の目的に合致するかどうか、必要に応じて交付要綱の改定により補助対象とすることが可能か検討していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



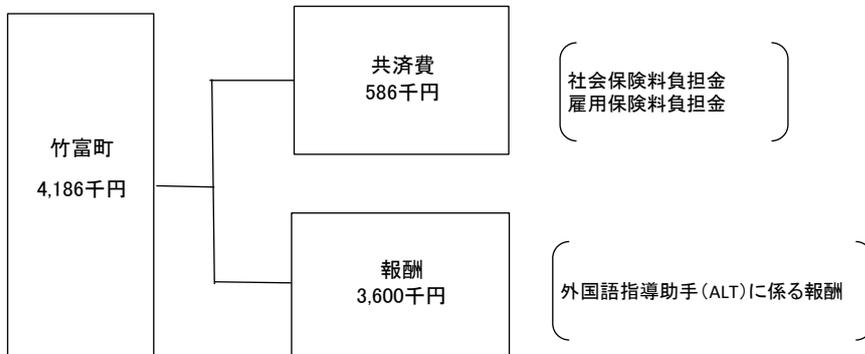
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先は交付要綱に基づく児童生徒としており、妥当である。 ○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であった。 ○受益者には一部自己負担を求めており、負担関係は妥当である。 ○費目・用途については実績報告で審査しており、真に必要なものと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名		竹富町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	外国語指導助手派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語への興味・関心を高める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	4,182	4,187	4,180	4,185	4,187
	(b) 予算現額	4,182	4,187	4,018	4,186	7,920	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 162	1	3,733	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	4,182	4,187	4,018	4,186	7,920	
	B. 執行済額	4178	4179	4,018	4,186	4,186	
	うち交付金充当額	3342	3343	3,214	3,349	3,348	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.9%	99.8%	100.0%	100.0%	52.9%	
予算の状況の説明		事業計画通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
	英語ネイティブの外国語指導助手を町内幼稚園・小学校に派遣	目標	(外国語指導助手の派遣 150回)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣 150回)	(外国語指導助手の派遣 150回)	
		実績	外国語指導助手の派遣 147回	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣 154回	外国語指導助手の派遣 136回	
	目標	()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明		竹富町内の小学校6校及び幼稚園3園へ外国語指導助手1名の派遣を実施し、年間で136回の派遣となった。前年度比で大幅に減少している要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務や、派遣の停止等が影響している。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		77%	79%	72%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		アンケート調査の結果、外国語や外国文化への興味関心が高まった(「英語をもっと話せるようになりたいか」という問いに対して”1. たくさん話せるようになりたい”)と回答した児童生徒は、72%となりこれまでの結果を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症等の影響で派遣回数が減少したこと等が要因と考えられる。しかし、”2. 話せるようになりたい”と回答した結果を合わせると99%となり、児童生徒の高い興味関心が伺える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果において、昨年度や一昨年度の結果からも実績が低下してしまい、目標値を達成することができなかった。 新型コロナウイルス感染症の影響により、感染対策による派遣停止や、臨時休校、自宅待機等、当初の計画通りに派遣を継続することができなかった。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣回数が減少となった。生きた外国語に触れる機会が減少となり、興味関心の向上が前年度に比べ低下したことが目標値の低下の要因と考えられるが、オンラインの活用による遠隔での授業実施や、新たなプログラムの開発等、子どもたちの外国語に対する興味関心が向上する対策を講じる必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣ができない場合に備え、各校へ整備した1人1台端末等の情報機器を活用したオンラインによる学習を日頃から外国語の授業へ取り入れる手法を学校や外国語指導助手と協議しながら推進していく。 単に外国語の授業のみでなく、レクリエーションや体験学習等、新たなプログラムの開発により、児童生徒の興味関心を高める新たな取り組みを検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,186	4,186	3,349	837	0

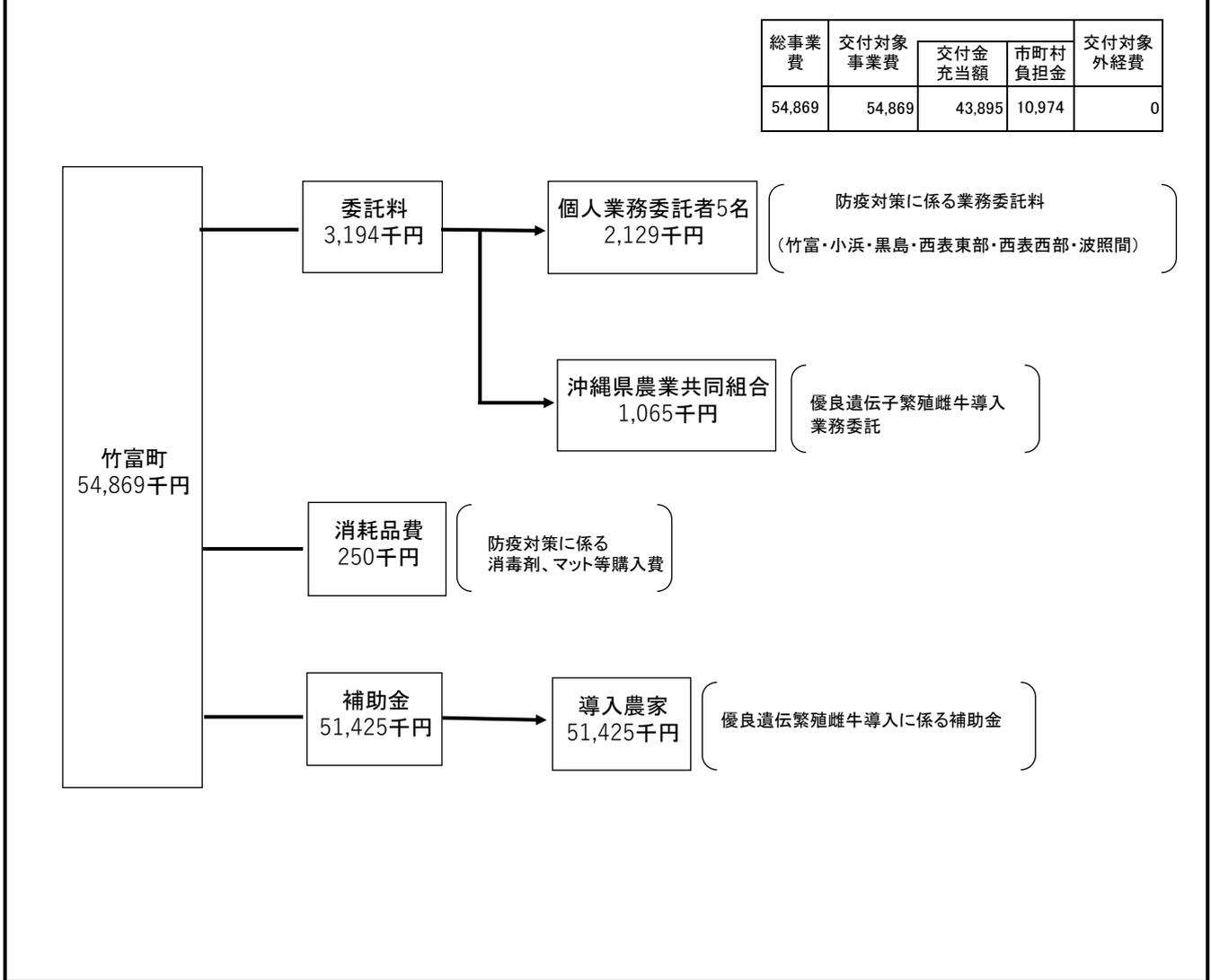


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)の選定については、書類選考後、面接を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は生じておらず、適正な予算規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、招致外国青年就業規則(JETプログラム及びJETプログラムによらない参加者)や竹富町職員の旅費支給に関する条例等に基づき支給しており、目的に即し必要なものであったと判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以内上限60万円)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	47,216	58,616	58,566	58,475	58,441
	(b) 予算現額	55,322	58,616	53,090	51,846	58,441	
	(c) 増減額(b-a)	8,106	0	▲ 5,476	▲ 6,629	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	55,322	58,616	53,090	51,846	58,441	
	B. 執行済額	50,755	53,448	53,090	51,846	54,869	
	うち交付金充当額	40,604	42,757	42,472	41,477	43,865	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	91.7%	91.2%	100.0%	100.0%	93.9%	
予算の状況の説明	当初計画を上回る優良母牛を導入(計画90頭、実施110頭)したものの、購買価格や導入にかかる経費の減により、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	離島港湾靴底消毒用マット設置6ヶ所(竹富・小浜・波照間・西表東部・西表西部)		目標 (消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	
			実績 消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	
優良母牛導入支援		目標 (導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)		
		実績 導入助成	導入助成	導入助成	導入助成		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・町内港湾6箇所に防疫マットを設置したことにより、伝染病等の侵入を防止した。 ・当初導入計画90等に対して110頭の導入支援を実施し、生産基盤の拡大を図った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合		目標 ()	(1.22%以上)	(14.5%以上)	(110.8%以上)	()
			実績	7.16%	9.46%	113.25%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和3年度におけるセリ価格において、導入優良母牛から生まれた子牛の平均価格は623,954円(A)、そうでない牛の平均価格は550,949円(B)となり、価格差の割合は113.25%(A/B)になった。導入した母牛から生まれた子牛はそうでない子牛との価格差が出ている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 県内で豚熱の発生事例があり、国内でも鳥インフルエンザの流行がみられ、町内での家畜伝性病侵入防止対策の重要性が高まっている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、和牛肉の需要低下に伴う仔牛価格の減少が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 防疫マットの設置、消石灰の配布に加え、生産者の防疫意識向上に取り組む必要がある。 仔牛価格の下落を想定し、生産コストを削減するなど、影響を最小限に抑える取組を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 家畜伝性病侵入防止対策として各島への防疫マット設置を継続するとともに、家畜保健衛生所等と連携して伝染病等の侵入防止を目的とした講習会を実施するなど、各生産農場での防疫対策の強化に取り組む。 生産コスト削減に向けて自給飼料率を上げるため、各関係機関と連携し、生産者に対する技術指導等を強化していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

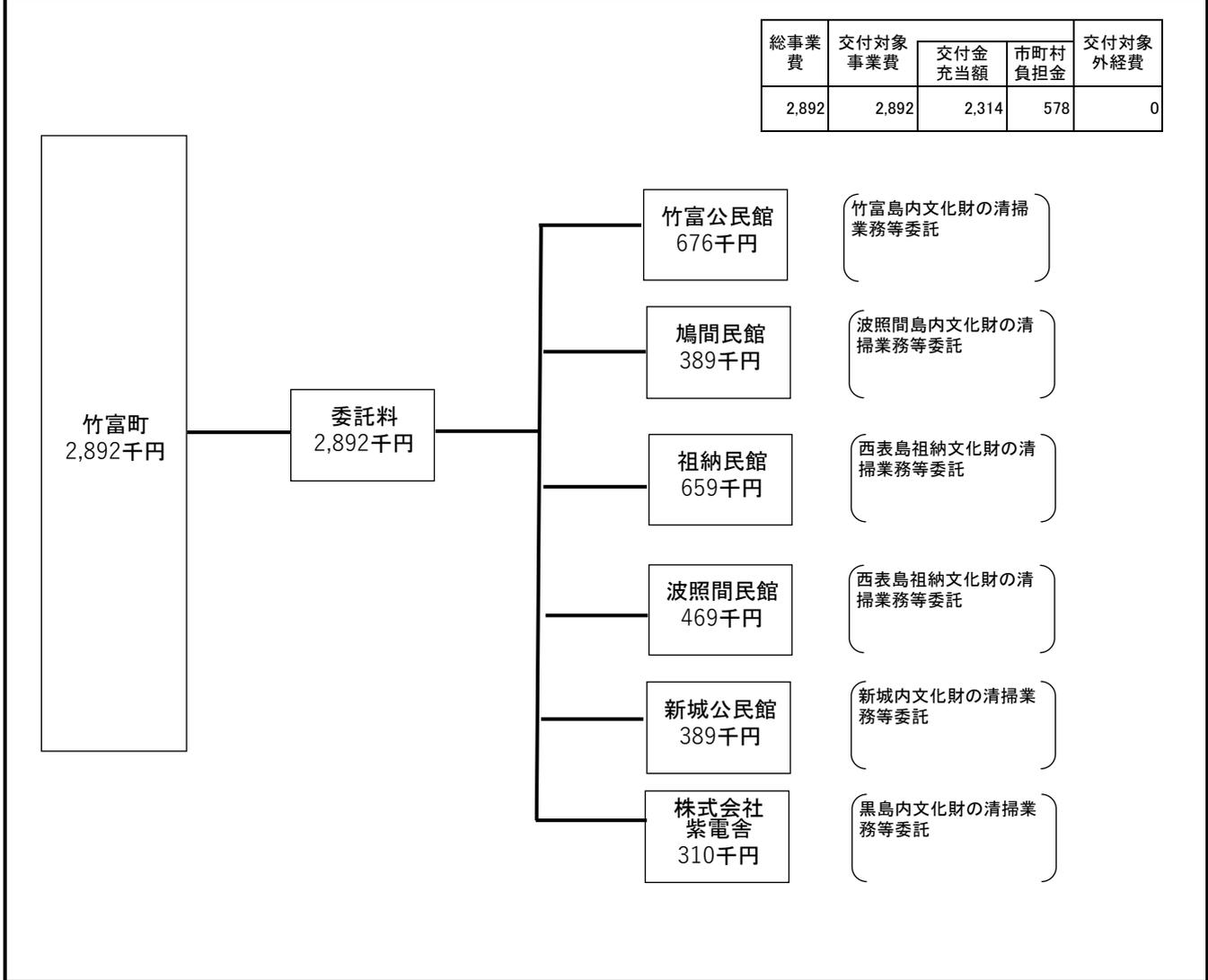


資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者は各地区肉用牛生産組合で助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 子牛価格の高騰を考慮して予算を確保したところ、予想を下回る規模となったため、流用により適正な規模へ見直しを行った。 受益者は導入費用の2分の1を負担しており、妥当である。 費目・使途については生産段階で検査を実施しており、適正だと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	文化財美化保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 社会文化課	事業実施(予定)年度	H24~R3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
事業内容	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として活用し地域の文化振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	2,930	2,800	3,190	3,260	3,260
	(b)予算現額	2,694	2,800	3,190	2,838	3,260	
	(c)増減額(b-a)	▲236	0	0	▲422	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	2,694	2,800	3,190	2,838	3,260	
	B.執行済額	2,694	2,788	3,189	2,838	2,892	
	うち交付金充当額	2,154	2,230	2,551	2,270	2,314	
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.6%	100.0%	100.0%	88.7%	
予算の状況の説明	令和3年度も引き続きコロナ禍により公民館役員や作業員が減ったことにより、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	県指定文化財18箇所、指定候補文化財8箇所の美化保全清掃を実施		目標 (16箇所)	(23箇所)	(23箇所)	(26箇所)	
			実績 24箇所	26箇所	26箇所	26箇所	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	竹富地区(9箇所・年24回、作業員6名)、鳩間地区(3箇所、年16回、作業員35名)、新城地区(4箇所、8回、作業員10名)、祖納地区(6箇所、4回、作業員25名)、波照間地区(3箇所、16回、作業員13名)、黒島地区(1箇所、年2回、高所作業のため専門業者へ委託)において各指定文化財及び指定文化財候補の美化保全清掃を当初の計画どおり実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	77.10%	新型コロナウイルス感染症のため実施できず	55%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	アンケート調査の結果、55%と目標値を下回り達成することが出来なかった。コロナウイルス感染症の影響で、人員確保することが出来ずに、保護、保全等を十分に行う事ができなかったことが要因と考えられる。教育委員会からもコロナの影響で各島へ出張立会いができず、文化財保護の清掃に対して助言、指導が出来なかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において作業員の確保が難しい中で作業を行ったきたが、清掃等が不足しており目標が達成できなかった要因と考える。 ・町内ではシルバー人材がなく、公民館等へ依頼し事業を実施している。 ・webでのアンケートだけではなく、対面式や直接、文化財がある清掃現場でアンケートを行うなどで結果が変わることもある。 	竹富町教育委員会ホームページと広報誌を活用し文化財を周知することができた。広報誌については毎月、町内の文化財紹介を掲載しているの継続する。各公民館長との連絡や調整を密にし、作業に入る場合は担当職員も一緒に現場に入り、文化財の保全方法や石積み、遺構などの清掃方法など一緒に行う。
	今後の取り組み方針	
各公民館と連絡を密にし、作業実施する際は担当職員も現場確認のため入るようにする。貴重な国指定、県指定、町指定の文化財などの石積み、遺構、史跡等において保全方法を地元公民館と考え、柔軟に対応していく必要がある。また、清掃実施していない地区にも文化財があるので、各島均衡に保全、清掃が実施できるよう見直しをしていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は随意契約であったが、業務に関する実績や実施体制を勘案しており、選定方法については妥当であったと考える。 ○見積書による予算に即して事業を実施しており、予算規模は適当であったと考える。 ○事業完了時に検査を実施しており、費目、用途は適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 竹富町

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (4-③, 竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-1-(1)-ア), 担当部署名 (世界遺産推進室), 事業実施(予定)年度 (平成24~令和3年度), 沖繩振興基本方針該当箇所 (III-10-(1)), 事業内容 (本事業は、国の特別天然記念物であり世界自然遺産登録の重要なキーポイントとなるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養の推進と併せて傷病鳥獣の保護救命の体制を構築し、世界自然遺産登録候補地となっている国立公園、西表島の生態系や生物多様性の保全推進を図るものである。), 効果発現年度 (■当年度 □後年度(年度)), 実施方法

Table with 7 columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), H29年度, H30年度, R1年度, R2年度, R3年度. Rows include: (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明 (当初の事業計画の予算額のとおり執行した。)

Table with 6 columns: R3活動目標(指標), 達成状況 (H30年度, R1年度, R2年度, R3年度). Rows include: 逸失ペットや傷病鳥獣の保護・収容, 保護収容個体及び新規登録個体のウイルス検査の実施, 適正飼養普及啓発講演会等の実施, ペット適正飼養推進会議の開催, 逸失ペットの生息状況確認のための調査実施, 改正竹富町飼養条例の周知.

達成状況説明
・住民からの情報をもとにノラネコの保護収容を実施した。
・保護収容した個体で所有者の判明しない猫については、西表島に派遣を駐する獣医師によりウイルスの検査や繁殖制限措置を施した後に西表島内で譲渡先の見つからない猫は西表島外に搬出した。
・普及啓発事業は、適正飼養について詳しく紹介したパンフレットを作成した。
・ペット適正飼養推進会議を開催し、関係機関で今後の対策について検討した。
・自動撮影カメラを用いたノラネコの生息状況の確認調査を実施した。
・ペットの適正飼養を推進、強化するために改正した竹富町猫飼養条例を周知させるため、当初は説明会等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、パンフレットやポスターを用いた取り組みに替えて実施した。

